

## 第5期都筑区地域福祉保健計画「つづきあい」(素案)に対する区民意見の募集実施結果について

都筑区では、第5期つづきあい(都筑区地域福祉保健計画)の策定にあたり、区民意見募集を行い、沢山の貴重なご意見やご提案等をいただきました。ありがとうございました。

この度、実施結果といただいたご意見等への考え方をまとめましたので公表いたします。

### I 実施概要

#### (1) 実施期間

2025年10月1日～10月31日

#### (2) 募集方法

インターネット回答、電子メール、郵便(専用はがきや封書)、FAX

#### (3) 素案の種類(作成した媒体)

全体版、概要版、やさしい概要版、英語版

#### (4) 周知方法

区ホームページ及び広報よこはまへの掲載、関係機関での配布・配架、関係団体への説明、SNS等での配信

#### (5) 実施結果

##### ◆回答人数・件数

80名100件

※1人の回答に複数の要素が含まれている場合は、分割して計上しています。

##### ◆回答手段別

回答手段	人数
電子	57
はがき	22
メール	1
FAX	0
総計	80

##### ◆ご意見の分類と対応の考え方

・計画の文言や表現への意見	・計画推進やその他に関する意見
総意見数 26 件	総意見数 74 件
・提案件数 15 件	・計画に含まれているもの 46 件
└ 計画に反映した件数 13 件	・今後の検討とするもの 21 件
・その他意見(感想等) 11 件	・その他の意見 7 件

## 2 いただいた意見についての考え方

### (1) 計画の文言や表現に対する主なご意見

#### ア 計画の「推進主体の表現」に関するご意見

(いただいたご意見抜粋)

- ・計画全体として主語が分かりにくい。
- ・「取組」の表記について、『区役所・区社協・地域ケアプラザ』だけではなく、その他の機関・団体も、様々な人が協働して取り組むことだと思います。等

(対応方針)

⇒取組の表現を「区役所・区社協・地域ケアプラザが、地域の皆さんと取り組んでいくこと」へ変更しました。

#### イ 計画の「イラスト」に関するご意見

(いただいたご意見抜粋)

- ・「ささえあい」のイラストが女性2人である。このささえあいのイメージに、男性も同じように登場できるように、世の中が変わらなければならないと思います。
- ・訪問するご家庭は、高齢者だけではない。絵をファミリーにしてほしい。

(対応方針)

⇒いただいた意見は、他に掲載するイラスト(主に「私たちの目指すまち」)へ反映し、多様な考えや価値観があることが伝わるようにします。

#### ウ その他の意見

(いただいたご意見抜粋)

- ・前計画はSDGsの考え方が表現されていたが、その評価や計画の振り返りが無い。
- ・第5期計画という言葉が唐突に感じる。

(対応方針)

- ・SDGsについて、説明を掲載します。
- ・概要版を見てもわかりやすいように「今回の計画の基本理念と目指す姿」へ変更します。

### (2) 計画の推進やその他に関する意見

上記の他にも、様々なご意見をいただきました。

次頁より、いただいたご意見の内容と、対応分類を掲載しています。

第5期都筑区地域福祉保健計画素案への意見募集結果 まとめ

【対応分類】

- ①意見を踏まえ、素案に反映したもの
- ②意見の趣旨が素案に含まれているものまたは、素案に賛同いただいたもの
- ③今後の検討の参考とさせていただくもの

No(人)	方法	年齢	いただいたご意見・ご感想	対応分類
1	電子	40歳～49歳	訪問するご家庭は、高齢者だけではない。子どもがいる家庭や虐待の通報もあるから、絵をファミリーにしてほしい。沢山のひとと接して育つことが大事。知らない大人に怒られたりすることに慣れていけば、人と関わりながら生活するようになる。	①②
2	電子	50歳～64歳	ご意見募集中の「素案」とは目指す姿の1、であい2、ささえあい3、わかちあい をさしていますか？まず素案内のごこへの意見を聞かれているかが分かりにくいと思われま。この計画全体として主語が分かりにくい。担手側と（支援する側）と受け取る側の事例表記や図があるよと良いかも。例えば「コーディネート力の強化に関して」誰が誰へのコーディネートかもわかりにくい。当事者が気づきやすい注釈が必要かも また協働するNPOとかの場合、NPO本人が自分が言われていることに気が付いていないかもしれないです。	①
3	電子	65歳～74歳	①基本理念 '自分らしく'を健やかにの前に入れて下さい。 分かち合いの目標で多様性が入ったのが五期のキモです。それなのに理念にないのはおかしい。 ②多様性 非常に難しいです。 福祉課、区社協、ケアプラザがどのように取り組むのか示して欲しい。 交流の場、講座、研修、支援、環境と書かれていますが、とても難しいと思います	①③
4	電子	50歳～64歳	「取組」の表記についてです。 『区役所・区社協・地域ケアプラザ』だけではなく、その他の機関・団体も、様々な人が協働して取り組むことだと思ひます。 紙面のスペースに限りがあるとは思ひますが、「など」とか、「区役所・区社協・地域ケアプラザの3機関だけで取り組むことでもなくて、みんなで取り組むんだよ」という印象になるような表記だと良いなと思ひました。 取り組みの輪にぜひ入れて下さい!と思ひています。	①
5	電子	30歳～39歳	目指す姿1～3それぞれの項目が、ざっくりとした表現でどの地域でも活用できる項目になっているように感じました。 各項目に都筑区の特徴を生かしてどうするのかというものを強調したような言葉を入れたほうが良いのではと思ひました。	①
6	電子	30歳～39歳	素案だけでなく概要版や分かりやすい版・外国語版まで作成されていて、区民に伝えようとする意志や少しでも多くの意見を吸い上げようとする姿勢にとて好感を持ちました。計画を作っただきありがとうございます。 区計画に込められた思ひがよく分かりましたし、背景や課題・目指す方向性もとてよく理解できました。さあ、地域のために自分も何かしてみよう!と思ひたのですが、しかし、「でもなにをすれば?」「何をすることが地域のためになるの?」「どうやって始めるの?」と躓いてしまいました。 普段からまちの活動をしていたり福祉の分野に携わっている方は容易に想像ができるかもしれませんが、自分にできそうなことのヒントを頂ければ行動に移しやすい気がします。(既に記載されていたらすみません) もしかしたら、ご近所づきあいなど意識せずに既になっていることもあるかもしれませんね。どこまでできるかは分かりませんが、何をしてもらったら助かるかをどうぞ教えてください。	①
7	はがき	50歳～64歳	基本理念、とて素晴らしいと思ひました。 高齢者や子育て支援が拡充されていく中、加えて氷河期世代への支援(救済)をと思ひます。 ①困窮者への食料支援対象(年齢枠)から外されがち。⇒配慮を。 ②”8040(50)問題”への支援・取組。実態が見えにくいけれど、潜在する大きな問題だと思ひます。 ・親の死亡時の手続きサポートの分かりやすい窓口があればと。「どうしたらいいかわからず」で放置・逮捕のニュースを見聞きすると、その必要性を感じます。”孤立”している人、多いのではと。社会構造の問題を自己責任と責められてきた世代の成れの果てです。手をさしのべる視点をと願ひます。	②③
8	電子	65歳～74歳	素案はよく出来ていると思ひますが、取り組みの中に現役世代をどのように巻き込んでいくかが、ポイントになると思ひます。働き方改革でワークライフバランスが重視されるようになってきているので、ライフの時間を地元で使ってもらえるような工夫が必要です。都筑区の財産である緑道をうまく活用できると良いのですが、ふれあい健康マラソンやウォークアンドフェスタが取りやめになったのは残念なことですね。	②※

No(人)	方法	年齢	いただいたご意見・ご感想	対応分類
9	電子	50歳～64歳	昨今、社会全体が格差や分断を助長するような風潮があり憂慮しています。多様性を尊重し相手を理解して認め合うことが、地域社会にとっても最も大切だと思います。今回の素案で多様性というキーワードが記載されたことは大変意義のあることだと思いますので、計画策定にあたっては、できるだけこのことを強く打ち出していきたいと思っています。	②※
10	電子	65歳～74歳	都筑区の特徴のところが今後の課題を考えていくうえで大変参考になると思います。意外と知られていないと思うので、はっきり書かれている点がいいと思います。 「素案策定にあたって」はいらないと思います。 上等の紙を使っていてもったいないと思います。 その分、地区別計画だけでも全戸配布するとか予算を使っては如何でしょうか。	①②③
11	電子	50歳～64歳	つづきあい素案とてもよくできていると思いました。 都筑区の特徴などよく理解した内容だと思います。 心配なのは、今後の少子化。青少年の引きこもり、自殺率の多さなど、子どもたちが何か窮屈さを感じているのではないかと思います。子育て支援は都筑区は特化していると思います。でも、青少年の支援がまだ足りない。こどもの幸福度は親の幸福度でもあると思います。 親の支援。働く方への働き方の支援。専業主婦でも、充実した支援があれば、もう少し子供に目を向けられるのか？こどもたちの幸福度を上げてあげたいと感じています。 フードシェアなども、ケアプラザ単位で行うとか、こども食堂への支援など。ひとり親、社会的養護の必要な家庭への支援に自治会単位で理解を深めて欲しいと考えています。	②③
12	はがき	75歳以上	この意見募集のリーフレット 目指す姿2「ささえあい」のイラストが女性2人である。このささえあいのイメージに、男性も同じように登場できるように、世の中が変わらなければならないと思います。「ささえあい」に男性が女性と同じように活躍できるような ・取組の方向性 ・区役所・区社協・地域ケアプラザの取組 が必要不可欠と思います。 課題が多いと思いますが、よろしくをお願いします。	①②
13	はがき	65歳～74歳	目標と計画は良く分かりますが誰が実践するかが問題。少子高齢化する中で市区職員や社協職員の皆さんだけでは難しいと思いますが、自治会町内会が高齢化し、力が衰えると思います。	①②
14	はがき	75歳以上	◎コンパクトに非常によく出来ています。最近のヒット作!! 困っている人への対応はより早くをモットーにしているし、行政の支援体制も満足できるが、人の考え、つながり方に変化は大いにある。活動する人はいつも同じで減少傾向は懸念材料。支えている人の崇高な志にいつも頭の下がる思いでおり、何とか感謝の気持を表わしたいが限界に歯がゆい思っている。	②※
15	電子	50歳～64歳	いきなり第五期計画という言葉が出てきて戸惑う。他の部分がとてと丁寧に説明されているだけここが唐突	①
16	電子	18歳未満	—	③
17	電子	30歳～39歳	具体的に何をしているのか分かりにくい。 お年寄りの方への支援はよく見かけるが、子持ちで共働きだが毎日余裕がないので、そのサポートが欲しい。	①③
18	はがき	75歳以上	・目指す姿の具体の取組として <区役所・区社協・ケアプラザの取組>となっています。役所の計画ではなく、区民全体の目指す姿ではないのですか! ・第4期計画ではSDGsの考え方が全面に表現されていました。その評価もなく、計画の振り返りもない。第5期計画は全く無視。持続可能な計画であってほしいと願います。 (地区別計画の担当として)	①※
19	電子	40歳～49歳	これまで見た行政の資料の中でも特にわかりやすかったです。 自分でもできることをやっていけたらと思います。	②※

No(人)	方法	年齢	いただいたご意見・ご感想	対応分類
20	はがき	40歳～49歳	優しい表現で読みやすかったです。 やさしすぎてもりあがり(少年・少女・青少年の気を引くような)に欠けるので、1面くらいは雑誌のような表現で、ここ2年以内の注目を浴びるであろう、万博の話やスポーツ(ビーコル)、芸能、又は区内でコンクールやインターハイに出た子のインタビューがあってもいいと思いました。 経済活動の農業は数字で知っているものの、センター北～南周辺は草ボーボーの耕作ほうきさが多数あり、信じがたい。	②③※
21	はがき	50歳～64歳	ページ数が多いので、もっとまとめたらいと思いましたが…。見易くてよいかもしれませんね。区民のためにはおはたらき感謝します。色々な企画、今後の取組を知ることができました。 年齢的に今後、仕事を引退すると、地域で何か活動に参加したり、させてもらいたいと願っています。よろしく願います。	②※
22	電子	40歳～49歳	赤ちゃん会で人と話せる場所があって良かった。そこで知り合った人と、子どもが小学生の今も繋がっている。そういう場があることが知られていない。	②
23	電子	65歳～74歳	町内会の枠などエリア関係なく、気軽に集まればそれでよい。老人クラブも年齢関係なく楽しむことが良い。高齢者も助けられるだけではなく、役割を与え、できることが出来るようになることが元気につながる。まずはやってみよう!	②
24	電子	50歳～64歳	健康を維持するためには、健康を意識して、仲間を作って、社会参加すること(自分にもできる役割があること)が大事。年齢や場所などなんにも垣根や排除は要らない。誰でも受け入れる寛容な土壌が大切。だれでも集まれる場がたくさんほしい。受け皿やネットワーク同士が交流すると人がどんどんつながる。	②
25	電子	75歳以上	知り合いがいない私に民生さんが訪問に来て、おしゃべり食堂に来て、と声をかけてくれた。1回声をかけられても知らない人の所に行くのは勇気が要る。でも2回も声をかけてくれたから安心して参加することができている。何かお困りですか?とも聞いてくれた。嬉しかった。	②
26	電子	65歳～74歳	民生委員をやっている。1番は健康で、2番はつながりが大事。普段から、最近どうかな?変わったことないかな?と気にかけて合うだけでよい。普段から声をかけ合って安心してもらおう。	②
27	電子	30歳～39歳	多様な悩み相談、気持ちを吐き出す場所があると良いと思います。年齢問わず悩みはつきません ストレス社会の現代には必ず必要です。解決に至らなくても話す事により 気付きを得られる事も沢山あるので その方面のプロの方を起用して頂き 生きやすい、生活しやすい町にして欲しいです。	③
28	電子	40歳～49歳	近年増加している発達障害児や、不登校児の保護者たちと座談会や情報交換の場が身近な地域にあれば、普段知り合う機会がないので、悩むを相談したり、様々な情報をもらえたりと、助かる保護者が多いと思います。	②
29	電子	65歳～74歳	居住者も若い世代も多くなり、常に『住みたい街』にはランクインしていますが、当初、港北区から都筑区になる前に居住した世代は高齢化(70代後半)に辿りついています。高齢者も若い世代も『安心、安全、過ごし易い環境の街』にして年齢問わず住み続ける街にするのが、安定行政の街作りだと思っています。	②
30	電子	40歳～49歳	都筑区は路駐が多い。路駐をなくせるよう駅前なら駐停車できるロータリーをつくる。駐車場を増やす。 特に、事故のリスクが高まる交差点すぐそばや、逆向き駐車、歩道のない住宅街(他人の駐車場や玄関の前)をなくすようにパトロールして注意喚起するなどして欲しい。 上記の場合、駐車禁止なので、警察がパトロールを頻回にして罰金とれば、段々なくなると思います。 (他人の迷惑にならない、事故の危険リスク回避の為に必要と心改めるのでなく、罰金取られたくないからです。そもそも、モラルある人は上記のような止め方しません。)	③
31	はがき	65歳～74歳	最初は誰人も初めて会う人だと思います。「挨拶」は出逢い→知人になるのびだだと思います。これからも素敵な区にしていきたいと思っています。	②

No(人)	方法	年齢	いただいたご意見・ご感想	対応分類
32	電子	50歳～64歳	<p>持ち家ではない世帯も参加しやすい地域活動や繋がりの場を作るべきだと考えます 昔からある団体だけではなく、新たに立ち上げる団体や新規参入団体も、様々な場面で活躍できるような体制が必要だと思えます。</p> <p>どうしても以前からある繋がりが強く、活動年数の若い団体が入れない状況があります。行政から声をかけて参入しやすくする、各団体の要望を聞き活躍の場をつくる、など新規の受け入れ体制や活動のしやすい場を作ると新たな地域活動がうまれると考えます。</p> <p>また、NPOが運営しやすい環境も必要だと思えます。 資金面の厳しい中で活動している団体が多く、みなさん無償ボランティア状態です。これでは、先の見えない今の時代、活動をしたくても生活をしていくためにできない人が多くなる一方です。 時代に合わせた社会貢献がしやすい環境作りも必要だと思えます。</p> <p>年内にNPO法人を設立する団体を運営しています。第5期計画を拝見し、各場所で当団体から提案できる活動があると感じました。が、どのようにすれば参入させていただけるのか、ということからわからずにいます。お声かけいただける機会があることを願っています。</p>	②③
33	電子	50歳～64歳	<p>○地域福祉保健計画ということで 多様な多世代に渡る人と人とのつながりに関する課題解決を目的にしていることは理解していますが、単純に人対人ということにプレッシャーを感じる人もいるように思います。都筑区の特徴として、「自然豊かな緑道や 公園が整備されている」とありますが、十分に活用されているのでしょうか？周りに植物がありながら、種類や特徴について理解しているのでしょうか？ 植物を介して人と人との出会いの場となるようなボタニカルガーデン（植物園）があると良いと考えています。藤沢市長久保公園都市緑化植物園生物多様性センターに度々行く機会があるのですが、こんな公園が近くにあれば良いな～と思っています。コンパクトではありますが学びがあり、つい見て歩きたくなる公園でいつもいろいろな世代の人がいろいろな活動をしています。植物は、癒しだけでなく人と人が繋がるための緩衝材として、多様な人たちに有効な存在です。横浜市において園芸博覧会が実施されますが、大規模で一時的なものではなく、身近に植物に触れあえ、その関わりを通して健康づくりや自然に人とのつながりも生まれる場や機会が必要です。</p> <p>○できそうなこととして、身近な植物やハーブを利用した園芸福祉</p>	③
34	電子	50歳～64歳	<p>皆さんはおそらく気付いていないと思いますが、 独身者に凄く優しくないと思います。 何が？と言いたくなると思います。 何が？ではなくそこを考えてほしいです。 こちらから発言している間は何一つ改善しないと思います。 何故なら実感としてないから、話半分で終わってしまうからです。 家族・親・兄弟、とにかく純粋に1人の人の生活を想像して何が優しくないのかを。</p>	③
35	電子	50歳～64歳	<p>地域の情報、サービスの収集→情報の整理→関係機関同士の共有→発信→更新 をして、必要な人に必要な情報がより届くような取り組みをしてほしい</p> <p>必要な人ほど、自分がどうすれば困り事を解決できるのかわからない、といったこともあるかと思う。 自分で出向くことができない、ネットを見ることができない、また、見聞きした情報をどう利用したら良いかわからないなどといった方に、どうすれば より届きやすく、利用しやすくなるかを検討してほしい</p>	②
36	電子	65歳～74歳	<p>自治会に加入されていない方や自治会を知らない方に向けて、であい・ささえあい・わかちあい、ことが出来ると良いです。</p>	②

No(人)	方法	年齢	いただいたご意見・ご感想	対応分類
37	電子	18歳～29歳	<p>作業療法士です。作業療法は人々の生活に寄り添い、ゆりかごから墓場まで、脳血管障害や発達障害、精神科まで幅広く勉強し網羅します。 現在は回復期病院で勤務しながら、親子つどいの広場で発達相談や育児相談も承っております。</p> <p>わたしが作業療法士として提案したいのは、各支援者(子どもに関しても、成人に関しても)への専門的な知識の共有と、当事者や介護者の相談へ応えていける場があるといいなと思っております。</p> <p>介護であれば、杖の長さ一つ変わるだけで体の使い方が変わります。街で「あのシルバーカー高さ合っていないな、合えばもっと楽になるのにな」と思うことよくあります。</p> <p>子供であれば、抱っここの仕方一つでお母さんの体への負担は全然違います。「うちのこベビーカーじゃ寝ません」に対して「いつか寝るよ」ではなく、その子がどんな感覚を欲しているのかわかれば育児はぐっと楽になります。</p> <p>認知症の家族を看るのはとても大変です。(毎日私も診てきてます。)怒りっぽくなる人もいれば不思議な行動を続ける人もいます。24時間一緒にいて夜も寝られないという人は少なくないと思います。そんなとき我々はリハビリのスタッフはどんな対応をして、どんなアイテムを使っているのか、お伝えできればもっと楽になる人もいるのではないかなと思っています。</p> <p>お力になれることがあればいいなと思っております。</p>	③
38	電子	40歳～49歳	都筑区にはモールが沢山あるが、もっと地域の商店にスポットを当てるべきではないか。	②
39	はがき	65歳～74歳	市内遺跡の17%もある区内遺跡の内、主だったものをピックアップして遺跡の案内板(説明板)と案内マップを作り、それらを巡る取り組みを行うことで区民の健康増進を進める。	③
40	電子	50歳～64歳	<p>地域活動のデジタル化</p> <p>都筑区は比較的若い世代の家族が転入されてきているので、SNSや地域アプリを活用した情報発信・参加促進が地域イベントやボランティア情報発信を一元化することで、参加のハードルを下げるのではないかとおもいます。</p>	②
41	電子	30歳～39歳	<p>障害児がいるのですが、やはり障害児のことが周囲の理解が得られず苦情がでるので、もう少し、周囲が理解できるような広告が欲しい。自閉症など。</p> <p>バスなど電車に広告欲しいです</p>	②
42	電子	40歳～49歳	<p>外国人住民の受け入れについては、地域や教育現場の実情を踏まえた慎重な対応が必要です。都筑区でも多国籍化が進む中、国の方針に先駆けて地域の安全・教育・支援体制を整えるべきだと思います。また、交通網についても一見便利に見えますが、地区によっては公共交通の便が悪く、高齢者や子育て世帯が移動に不便を感じています。移動のしやすさを生活目線で再検討してほしいです。さらに、小学校に関しては登下校の安全確保や放課後の居場所、外国人児童支援、心のケアなど現場の課題が多くあります。給食も食育・地域連携の観点から重要です。子どもたちが安心して学び、地域に愛着を持てる環境を、都筑区が先駆けて築いてほしいです。</p>	③
43	電子	30歳～39歳	(未入力)	③
44	電子	30歳～39歳	あまり地域に目を向けてこなかったのですが、子育てをしている中で色々な方に支えられていることを実感しました。困っているお子さんやそのご家庭など、できることがあれば手を差し伸べたいと思います。	②
45	電子	18歳～29歳	子供から高齢者まで幅広く使えて思いっきり体を動かしたり、ひと休みできるカフェがあるような広場のようなところを作っていただきたい。	②

No(人)	方法	年齢	いただいたご意見・ご感想	対応分類
46	電子	40歳～49歳	地域でのつながり、多様性等、今求められていることだと思います。もちろん大切なことだと思うのですが、シングルマザーになり、フルタイムで働いていると、そういった地域の集まりに参加するのも難しいです。参加するとしても子どもと一緒にあつたりすると、自分のリフレッシュ時間も確保できず、余計に参加できないというのが現状です。子サポを利用するなど地域の力を借りながらということにも、収入があると保育園料の支払いもあるため、出費がかさみ頻りに利用もできません。当事者になって大変さを知りました。ひとり親だけでなく、ほかにもこういった現実には大変さを感じてる方もいらっしゃると思います。すべての人に焦点を当てるのも難しいと思いますが、そういったことなども考慮して計画していただけることを望みます。	③
47	電子	30歳～39歳	牛久保公園や都筑中央公園など、公園がある場所に街灯をつけてほしい。数歩先も見えないくらい暗く、子供たちや年配の方、女性が一人で通る場合の治安が心配です。	③
48	電子	50歳～64歳	地域全体で子どもを見守る仕組みが必要だと思います。未就学児の支援は、これまでも比較的取り組みがされてきましたが、小中学生に対する支援は十分ではないと思います。既存の地域資源を活用しつつ、子どもたちが自ら選択して過ごすことができる居場所をつくり、ゆるやかに大人が見守る仕組みがあるとよいと思います。	②
49	メール	不明	都筑区在住、子供3人、共働き家庭です。保育と学童(キッズ)について困りごとがありメールさせていただきました。  ●キッズと保育園の預かり対応の違いについて 上の子が一年生になり、下の子がまだ保育園という時、下の子は保育園で夜7時半まで預かりしてもらっていましたが、小学生のキッズクラブは7時で閉まるため、それに合わせて、職場において時短勤務をせざるを得なくなりました。当然給料も減りました。 朝は、保育園は7時に預けていましたが、夏休み中は、キッズクラブは朝8時に開くため、仕事に間に合いません。このような預ける時間の違いから周りの母親たちもたくさんの方が小1の壁にぶち当たり、多くの方が正社員をやめてパート勤務にしたり、時短勤務にしたり、それぞれ大変苦勞しております。 保育園と、キッズクラブは性質が異なる事はよく理解していますが、2つが同じような預かりができるようになれば、今後も仕事を続けられない人が増加してしまいます。 キッズクラブでは、利用料金が上がっても良いので、希望者に対して延長の預かりができるようにして欲しいです。夏休み中の朝の開所時間も早くして欲しいです。 また、区役所の方にも相談したことがありますが、「民間の学童を利用してください」と他人事のように言われましたが、民間の学童は利用料金が高額すぎて、現実的ではありません。とても高い費用がかかります。  ●病児保育について 病児保育ですが、冬場、風邪が流行るころは定員がいっぱいになる利用できないことがあります。病児保育室の数を増やして欲しいです。  ◎子供がいても、誰もが働きやすい社会になって欲しい ◎子どもの保育で制限されることなく働ける社会になってほしい と思います。 以上、ぜひとも母親たちの声を届けてください。よろしく願いいたします。	③
50	はがき	65歳～74歳	「お近くの地域ケアプラザにどうぞ!」 地域ケアプラザが、より身近なものになるようなキャッチコピーをつくる。	②
51	電子	40歳～49歳	子どもに発達障害があり、コミュニケーションの難しさを感じています。学校以外でお友達ともっと関われる場所がもっとあるとありがたいです。今は放課後等デイサービス、子ども食堂などに行っていますが、子ども食堂は主催者の負担が大きいです。子ども食堂以外で交流出来る場所があれば良いと思います。なにか遊び会などあれば良いと思います。	②
52	電子	18歳未満	みんなで集まって食べるご飯は、美味しい!	②
53	電子	50歳～64歳	—	②
54	はがき	65歳～74歳	ケアプラザ等で健康に関する機会や相談コーナーなどの回数を増やして欲しいです。	③
55	はがき	18歳未満	犬やねこなどとふれあえる場所がほしい。	③
56	電子	18歳～29歳	そんな街があつたらいいなと思いました。地域での活動で1人になる人が減ったら犯罪も減るかなと思いました。	②
57	電子	18歳～29歳	—	②
58	電子	50歳～64歳	ご近所で声掛けはできそうです	②
59	電子	65歳～74歳	世代の核家族化が普通になっていることや活動単位が個人中心になっている時代なので、子供を含む各世代が自然な近所付き合いができる環境を人として残していくのは大切なことと思います。時代に合わせたルールが不可欠ですが、大人のマナーを守りながらそういう意識を住民が持てたらいいですね。地区センターなどが進めている趣味のサークルや勉強会への参加などは個人の意思がきっかけなので義務的な色が無く、世代を超えて人と繋がる機会を広げる契機になります。また障害者や弱者への理解や支援が整っているのは自治体として素晴らしいと思います	②
60	はがき	65歳～74歳	一人ひとりが違っているから、学ぶ事もあると思います。共生・共感できる区になれば、と思います。	②
61	はがき	18歳未満	イベントなどがもう少しふえるとより、協力できて、つづき あいになっていくと思います!(盛り上がると思う)	②
62	はがき	18歳未満	もう少しお祭りがたくさんあつたらうれしいです。ずっと環境を保ってくださっている人たちに感謝します。いろいろな年齢の人とパンをつくる取り組みでしせつの人もよろこぶ、しせつに入っていない人もよろこぶという点がたくさんあると思うので、これからも続けてほしいと思いました。	②

No(人)	方法	年齢	いただいたご意見・ご感想	対応分類
63	はがき	18歳未満	・お祭りをふやす ・お祭り以外にもイベントをふやす。	②
64	はがき	50歳～64歳	今後都筑区が良くなればいい	②
65	電子	40歳～49歳	他の地域で見たのですが、 大きな図書館があり、マンガがたくさんあって 読みやすい席や1人でこもれる席があって 都筑区にもあればいいのになあ、と思いました。	③
66	電子	30歳～39歳	コロナ禍に伴って他人との交流が減ったように感じているので、このような機会はとても良いと思いました。 また「ささえあい」のところでは、他人が困っているときに自分にできることはないそのままにしてしまうと共感しました。	②
67	はがき	75歳以上	高齢者のスポーツ、GG、バードGの芝生の公園で常設として使用できるようにして欲しい。一ヶ所で良い。現在は土、石混じり…です。他府県は芝生か人工芝で美しく楽しんでいる。都筑区は高齢者が住みにくい。	③
68	電子	50歳～64歳	区役所以外の組織は任意であるが実質的に固定的な組織、メンバが関わっている。特にボランティアの方々には感謝する一方で中心メンバが固定的になっている。 その方々との相性が悪い人は関連する活動などにアクセスが困難になっています。 ケミストリーが合う合わないという意味でも多様性を広くカバーする方策が区役所側に求められると思います。	②
69	はがき	75歳以上	いろいろな人やグループと町がつながるように力を入れる。区役所の会議室に入ってみようかな?と思わせる何か工夫があると…!!つい、何しているのかな?で終わってしまう見方をしてしまいます。	②
70	電子	50歳～64歳	偏見や差別によって、つらいと感じる人がいる。わかちあいの必要性は理解しています。が、現在の政府の多文化共生の方向性につなげて啓蒙となるような活動になるのでは?と少し疑いや不安な気持ちもあります。	③
71	はがき	18歳～29歳	(東山田地域ケアプラザ)おさんぽカフェのいい みんなといっしょにおはなしすることがたのしい	②
72	はがき	50歳～64歳	・地域の中で「こんな取組があったらいいな」というアイデア ⇒子供食堂(ヘルスメイト等を通してボランティア募集など)  ・野球ボールを使って遊べる所がものすごく減った気がします。(サッカーボールも) 危険な事もわかるけど、放課後にちょっとボール遊びをして学べる事もたくさんあると思うので、遊べる場所(学校の校庭とか?)をつくってほしいです。あと空き地を開放してあそべたらいいなあ?とか。	②③
73	電子	30歳～39歳	障害児の遊び場が欲しい	②
74	電子	40歳～49歳	ー	②
75	電子	30歳～39歳	都筑区に転入してきて1年半ですが、人と人との繋がる機会が多くて、都会なのに田舎のような温かい感じがします。このような意見募集などがあると自分も地域の一員なんだという実感が強くなり、愛着が出てくるので良いと思いました。	②
76	電子	40歳～49歳	現在、町内会の子ども会に参加しています。今年度は役員をしていますが、他の子ども会では負担軽減の為にどのような取り組みをしているのか、知る機会があったら良いと思っています。うちの地域では役員が大変だからと会に入らない方もいる状況でして。会を通して繋がった方もいるため継続出来ると良いのですが、このままだと会の存続も厳しく。簡素化する為に工夫している事をオンラインで意見交換できる場が欲しいと思っています。	③
77	電子	50歳～64歳	ゴミの収集時間が、11時前や14時近くと一定しません。 時間を固定するのは難しいと思いますので、せめて何時ごろとお示し頂きたい。	③
78	電子	18歳～29歳	ー	③
79	電子	50歳～64歳	とても読みやすく興味が持てる内容でした。 わたしの希望は、 ①企業の建物だけでなく、戸建てでもひとつの建物につき緑地を必ず作るべきだと思います。こんなに緑を増やそうと言っているのに、これまでたくさんの木があった場所を、駐車場や戸建は全て、それまであったたくさんの素敵な木が切られ、コンクリートのみになってとても悲しく、残念に思います。市が管轄する新築戸建ての場所もたくさん緑があった場所に、どんどん戸建の住宅が建てられているのに心が痛みます。  ②キエーロという、手作りコンポストを作る会を開いて、生ゴミを上手に各家庭で再生できたら、ゴミ処理の負担も少なくなると思います。キッチンの水分を多く含んだ生ごみを捨てる時に、今年こそキエーロを作るぞ!と思います。	②③
80	はがき	50歳～64歳	土曜、日曜も、バッテリーを捨てられるようにしてほしい。	③